

新型コロナウイルス感染症対策に係る 熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、レベル2とします。

1 リスクレベル判定指標

指標	前週（9月21日）	今週（9月28日）
最大確保病床使用率	25.9%	19.3%
最大確保重症病床使用率	10.3%	8.8%

前回（9月22日発表）	今回（9月30日発表）
レベル2	レベル2

2 感染概況と注意が必要な地域

	前週（9月21日）	今週（9月28日）
新規感染者数	6,631人	5,294人※
感染の傾向	減少傾向にある	減少傾向にある

※9月26日から全数届出を見直しており、27日以降のデータは性質が異なる。

本県の新規感染者数は、全域的に減少傾向にある。

注意が必要な地域 (保健所管轄地域)	なし
-----------------------	----

3 県民の皆様へのお願い

9月26日から全数届出を見直しました。特に届出対象とならない方（若い方など重症化リスクが高くない方）は、ご自分の療養期間を御確認いただくとともに、万一症状が悪化した場合のスムーズな対応のため、熊本県療養支援センターに陽性者登録を行っていただくようお願いいたします。

また、引き続き、医療に過度の負荷をかけないように、平日の昼間の診療時間内に受診をする適正受診や、医薬品・食料品の日頃からの準備に御協力をお願いします。また、夜間等に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合、#7400(夜間)や#8000(子ども)への御相談をお願いします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：錦戸、横山、中満、吉岡
電話：096-333-2239
(内線) 5931、5933

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）9月30日】

9月26日以降、全数届出が見直されました。これまでと疫学データの連続性が断たれるため、見直し後のグラフは新たに描画しますが、一定程度のデータが収集されるまでは実数を公表します。見直し前までのデータについては、【参考】として別添しています。

1 熊本県における現状認識

(1) 新規感染者数の状況

本県の感染報告数

	9/27	9/28
感染報告数	637	572

地域ごとの人口10万人当たり感染者数推定値

	9/27	9/28
熊本市	26.7	17.8
阿蘇	12.7	16.9
宇城	11.4	14.2
菊池	21.1	19.0
御船	10.5	24.4
山鹿	10.8	10.8
人吉	15.9	6.3
水俣	16.3	0.0
天草	27.0	33.8
八代	25.8	0.0
有明	20.0	23.6

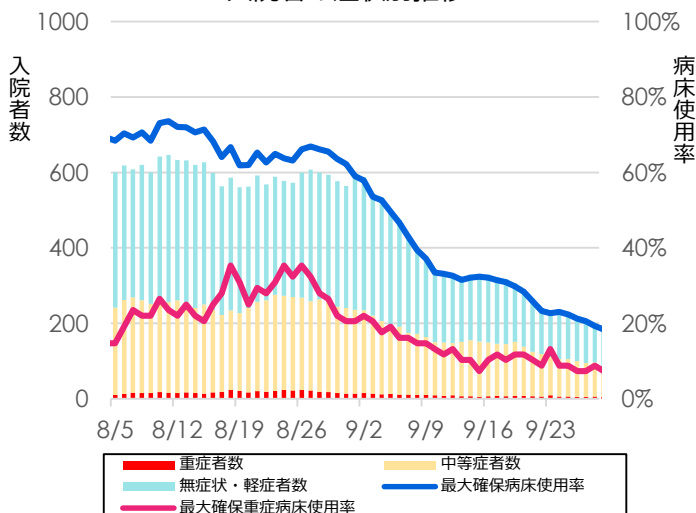
各医療機関及び熊本県療養支援センターから報告があった事例の合計。
今後、7日間移動平均及び実効再生産数を加えてグラフ化予定。

発生届出のあった事例の居所の集計について、各保健所管轄地域の65歳以上の人口をもとに推計。今後、7日間移動合計によりグラフ化予定。
各保健所管内の65歳以上人口は、国政調査(2020年10月1日現在)に基づく。

感染者の減少傾向は継続していると考えられる。

(2) 病床等の状況

入院者の症状別推移



療養者数と入院率（推定値）

	9/27	9/28
推定療養者数	6117	6403
推定入院率	3.4%	3.1%

療養者数は、一般的な療養期間である7日間の感染者数を足し合わせ推定。今後グラフ化予定。

最大確保病床使用率は、先週から6.6ポイント改善が見られており、20%を下回った。

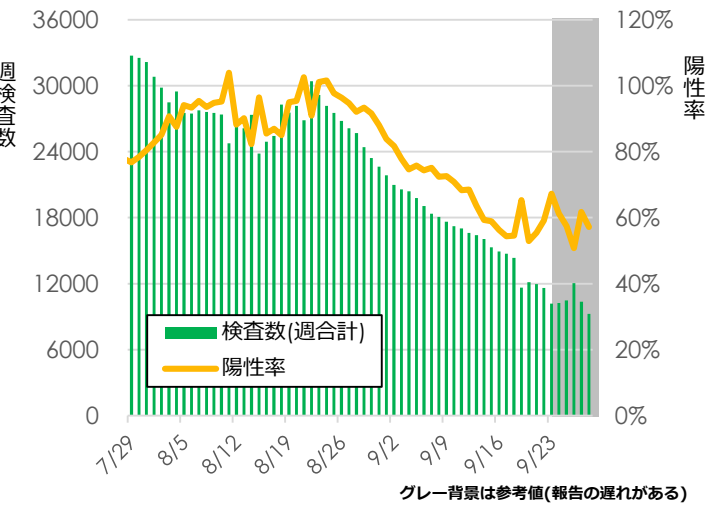
(3) 感染の態様

感染者の感染経路割合推移

	9/26	9/27	9/28
県外関係	3.8%	7.3%	6.8%
会食・飲食店	1.7%	5.1%	2.9%
自宅・家庭内	39.6%	33.7%	38.8%
職場	4.3%	4.5%	1.9%
教育・保育	12.3%	9.6%	5.8%
医療機関	2.6%	1.1%	4.9%
高齢・福祉施設	3.0%	2.2%	1.0%
その他	6.0%	6.7%	5.8%
経路不明	26.8%	29.8%	32.0%

熊本県療養支援センターへの登録時のアンケートから診断日により集計。
すなわち、65歳未満のデータであり、高齢・福祉施設、医療機関の感染状況は過小評価されている（当該経路は右記クラスター数推移から推定する）。
今後、7日間移動平均によりグラフ化予定。

週の検査報告数と推定検査陽性率



陽性率は、医療機関と行政の検査で確定した陽性者数を分子、医療機関から報告のあった検査数及び行政の検査数を分母とした比率（セルフチェックは含まない）。報告の遅れ、未報告、みなし陽性の影響で、陽性率は100%を超えることがある。

医療機関及び高齢者施設クラスター発生数推移

医療機関クラスター発生数

	9/26	9/27	9/28
発生数	0	0	0

高齢者・福祉施設クラスター発生数

	9/26	9/27	9/28
発生数	3	1	2

期間中に保健所が認定したクラスターについて、認定日により集計。
今後、初発患者の認定日により集計し、7日間移動合計によりグラフ化予定。

年齢階級別陽性報告者数推移

	9/27	9/28
10歳未満	110	80
10代	102	99
20代	75	75
30代	91	84
40代	99	79
50代	76	52
60代	44	56
70代	21	24
80代	12	20
90代以上	7	3

各医療機関及び熊本県療養支援センターから報告があった事例の集計。
今後、7日間移動合計によりグラフ化予定。

検査数や検査陽性率も減少しており、感染の減少傾向は継続している。感染経路は家庭内や経路不明が最も多い状況で、学校等がそれに次ぐ状況が継続している。

(4) リスクレベル判定

	9月28日	レベル0 感染ゼロ	レベル1 維持すべきレベル	レベル2 警戒強化レベル	レベル3 対策強化レベル	レベル4 避けたいレベル
病床利用率	19.3%	県内で継続的な感染 が起こっていない	—	20%	50%	最大確保病床数を超えた 数の入院が必要
重症病床利用率	8.8%		—	—	50%	

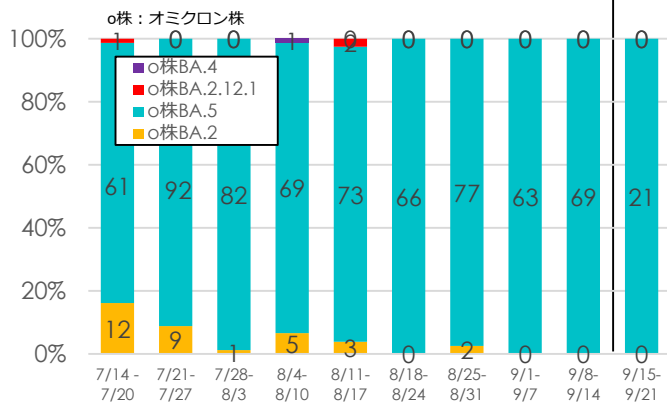
(5) 注意が必要な地域の概況

注意が必要な地域の概況については、データが一定程度集積してから更新します。

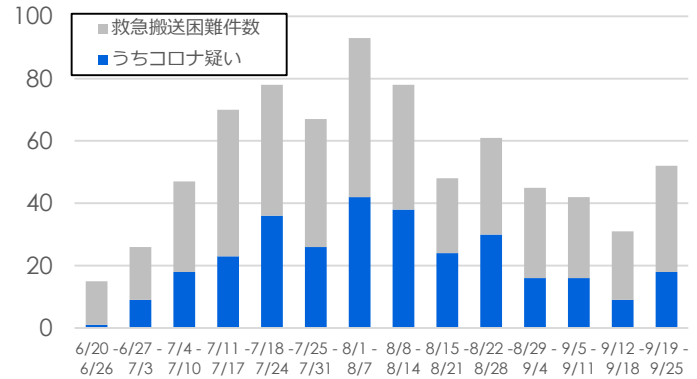
【参考】ゲノム解析の結果概要

参考
(今後報告増)

【参考】救急搬送困難件数



結果判明までのタイムラグがあるため、日付が近い値は変動する。



熊本市消防局から総務省への報告数。

【参考】医療の状況、感染状況に関するデータ

時点	医療の状況						感染状況		
	(推定)療養者数 ^{※1}	(推定)入院率	入院者				検査陽性率 ^{※2}	感染経路不明割合 ^{※3}	新規感染者数 今週/前週比
			重症	中等症	軽症	その他			
9月28日	6,403人	3.1%	6人	91人	100人	4人	57.0%	28.6% ^{※4}	0.8
9月21日	10,427人	2.5%	7人	118人	133人	7人	55.4%	24.3%	0.7
9月14日	12,356人	2.7%	7人	148人	166人	8人	57.3%	24.8%	0.7
9月7日	22,728人	1.9%	11人	164人	256人	5人	69.9%	23.1%	0.7
8月31日	43,448人	1.3%	14人	227人	317人	6人	79.1%	25.4%	0.7
8月24日	44,991人	1.3%	24人	249人	285人	18人	91.8%	27.8%	1.3
8月17日	42,292人	1.3%	19人	203人	325人	16人	76.0%	28.1%	0.9
8月10日	43,875人	1.5%	18人	240人	366人	18人	79.9%	34.3%	1.0
8月3日	44,960人	1.3%	12人	247人	323人	4人	76.5%	35.3%	1.0

グレー背景は参考値。

※1 9月26日以降:一般的な療養期間である7日間の感染者数を足し合わせ推定。

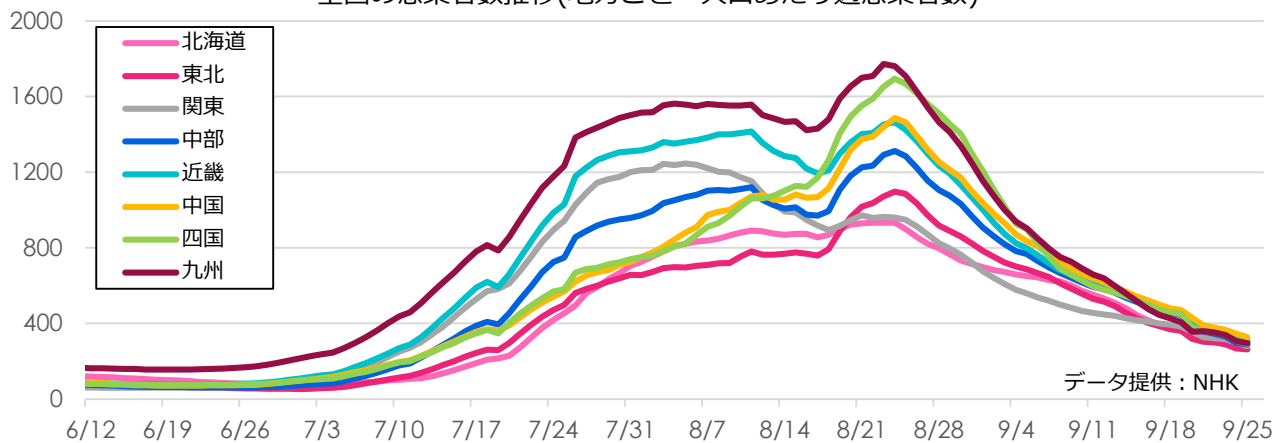
※2 医療機関及び行政の検査で確認された陽性者数/医療機関から報告のあった検査件数及び行政の検査数の比。報告の遅れがあることに注意。

※3 9月26日以降:熊本県療養支援センターへの登録時のアンケートに回答のあった事例から推定。

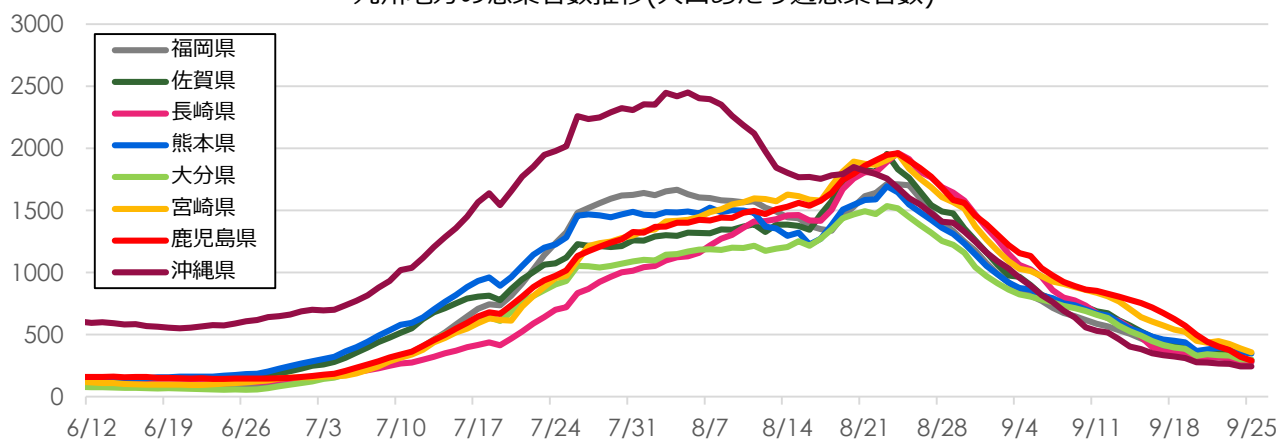
※4 9/26~9/28に診断され、熊本県療養支援センターに登録のあった528事例からの推定。

【参考】第7波の感染状況

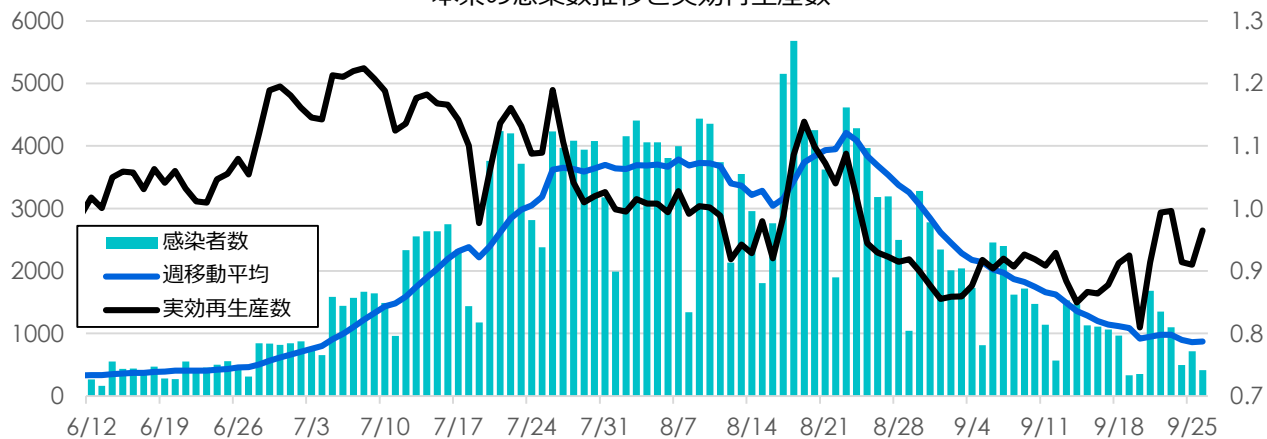
全国の感染者数推移(地方ごと・人口あたり週感染者数)



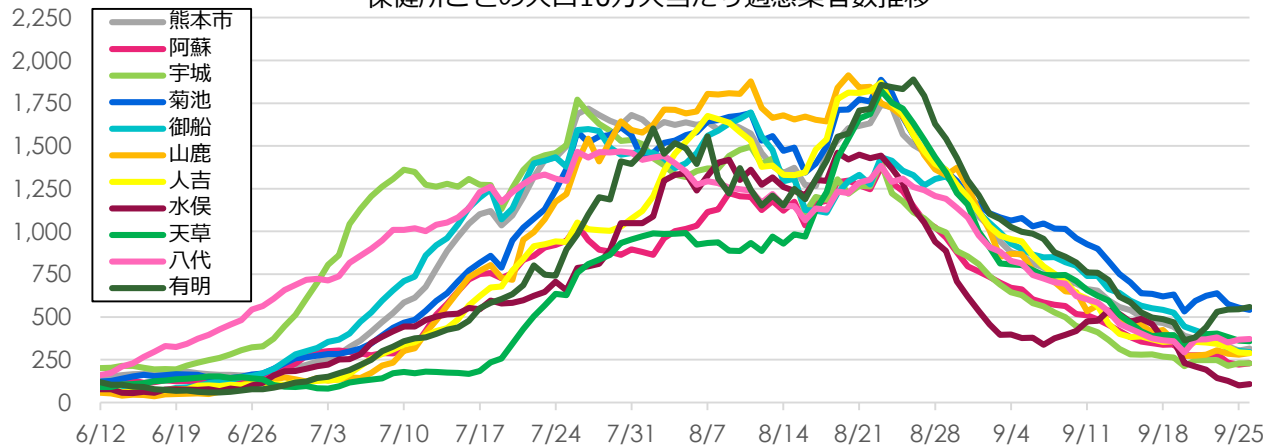
九州地方の感染者数推移(人口あたり週感染者数)



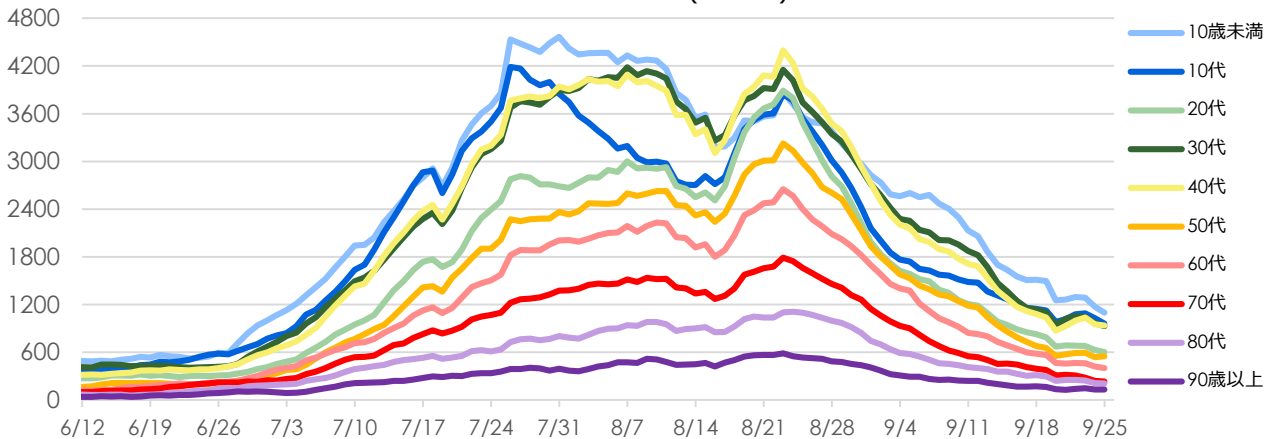
本県の感染数推移と実効再生産数



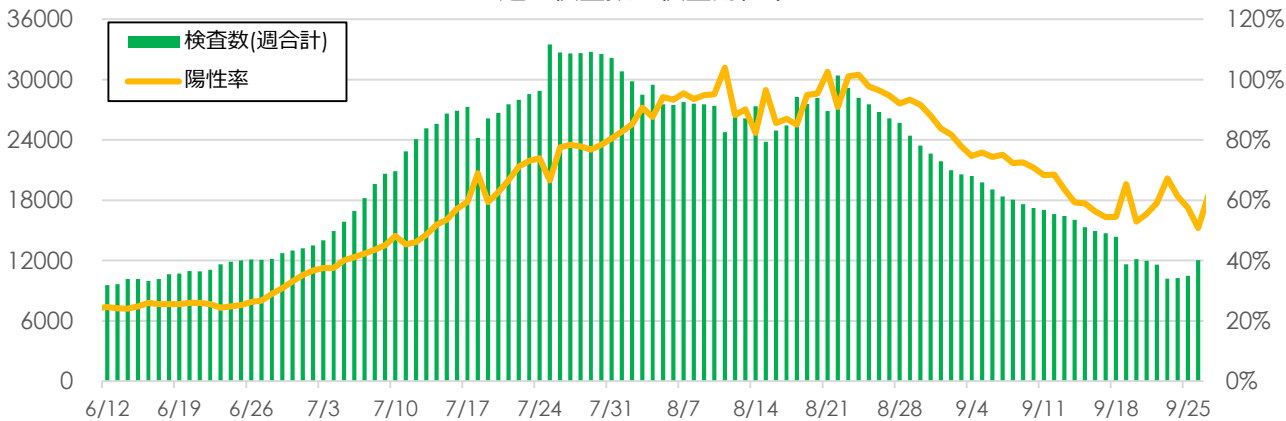
保健所ごとの人口10万人当たり週感染者数推移



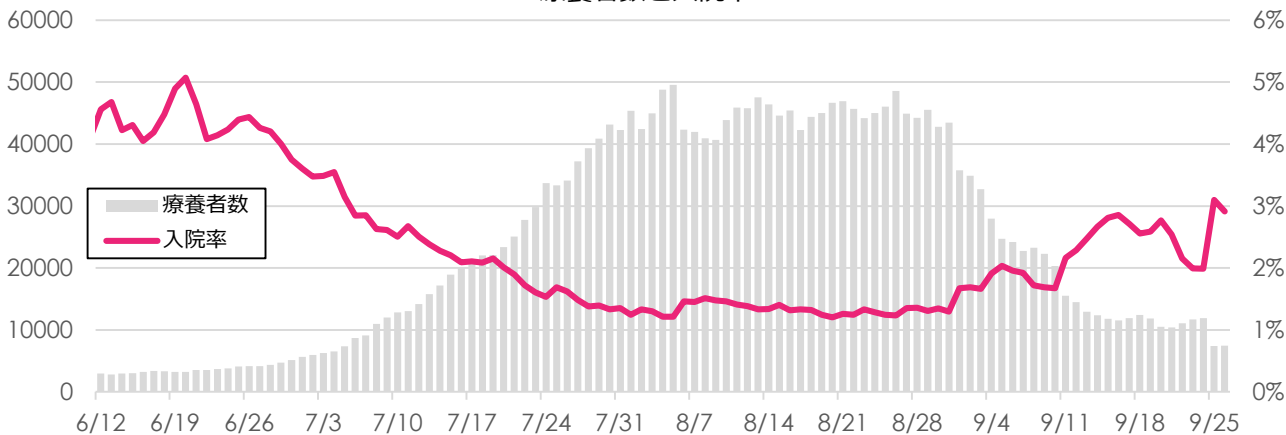
年齢階級別分布(週合計)



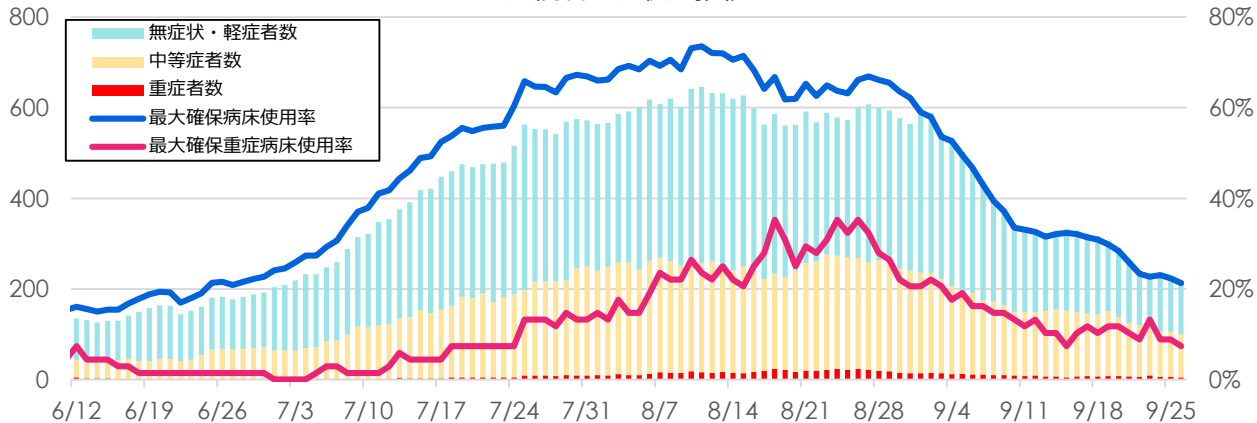
週の検査数と検査陽性率



療養者数と入院率



入院者の症状別推移



2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (9月29日現在)

- 熊本県の新規感染者数は減少が継続している。シルバーウィークについても、現時点では全国的にも大きな影響は見られていない。9月28日時点の最大確保病床使用率は19.3%であり、安定的に20%を下回る場合はレベル1に引き下げる判断も可能な状況となりつつある。
- 9月26日から、全数届出の見直しが行われた。これにより、医療機関や保健所の業務ひっ迫は一定程度改善することが見込まれ、重症化リスクの高い方へ対応の集中が図られると思われる。
- 一方、特に届出対象外の方は、保健所等からの連絡がなくなるため、御自分で対応を確認する必要がある。こうした方が迷わないよう、県・熊本市においてはフォローアップ体制の周知を進めるようお願いする。
- また、先週、岸田総理大臣の記者会見において、10月11日からの水際対策の緩和（外国人観光客の上限人数撤廃）及び国内旅行の助成制度等（全国旅行割、イベント割）の開始について発表があった。
- 感染や病床の状況が改善する中で、こうした経済対策は必要なことだが、広範な人の移動や接触が増加することで、新たな変異株の流行や、それによる感染者の増加は起こりやすくなる。一般的に冬季は呼吸器感染症が流行するほか、これまでの経験を踏まえても、年末・年始の人流が増加するときに感染が拡大する可能性があると思われる。
- したがって、基本的な感染防止対策の徹底に加え、ワクチン接種の推進が最も重要となる。オミクロン株対応ワクチンについては、熊本県内においても9月下旬から開始されたが、重症化予防に加え、感染予防や発症予防を接種目的としている。従来ワクチンも、概ね3か月間は発症防止効果があったことを考えると、多くの方が迅速に接種を済ませた場合、感染拡大の波を小さくできることが期待されるのではないかと。県・熊本市においては、こうしたメリットの啓発などをしっかりと行っていただきたい。

3 県民の皆様へのお願い（9月30日発表）

熊本県リスクレベルは、レベル2です。また、感染状況は減少傾向にあります。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな換気、手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、かかりつけ医等に電話相談！（セルフチェックも可）



©2010 熊本県 くまモン

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用を推奨する場面※は次のとおりです。
 - 屋内において、他者と距離（2m以上を目安）がとれない場合
 - 屋内において、他者と距離がとれるが会話を行う場合
 - 屋外において、他者と距離がとれず会話を行う場合
 - 重症化リスクの高い者と接する場合
- ・換気、手洗い、人と人との距離の確保等を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。

※…マスク着用が必要ない屋外の場面では、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨。
また、就学前の子どもは、2歳未満では着用が推奨されないほか、2歳以上であっても周りの大人が子供の体調に注意したうえでの着用が必要。

2 検査受検

発熱などの症状がある方

コロナに限らず、感染症に罹患している可能性がありますので、まずは仕事等を休み、周囲の人に感染させない対策を徹底してください。

【症状が軽いことなどを理由に、医療機関の受診を希望しない方】

- ・国から承認された一般用抗原検査キットによるセルフチェックが可能です。陽性の場合には熊本県療養支援センターに陽性者登録を行ってください。陰性の場合も、症状が軽快するまでは十分注意してください。（症状が続く場合や悪化した場合などは、医療機関を受診しましょう。）

【医療機関の受診を希望する方】

- ・かかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

発熱等がある場合



キット陽性の方



無料検査について



3 移動・外出

【移動】

- ・都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。
- ・旅行は感染対策を徹底し、わずかでも体調に異変があれば控えてください。

【外出】

- ・マスク着用等の感染防止対策を徹底してください。
- ・感染リスクの高い「3つの密」のある場所への外出は自粛してください。

4 会食時は特に注意しましょう

- 会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- なるべく普段から一緒にいる人と
- 人数を絞って



- 県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- 感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。
- 飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。
- 宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

(注)認証店：「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けた店舗

熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ 熊本県12月1日現在 熊548-17112052

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場面に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
 - 感染防止対策を実施しているお店は、スタッフへの掲示等で確認できます。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするようお店と相談しましょう。
- ※ 認証店は異なりますが、下記のような工夫で感染リスクを下げましょう。

認証店での会食の例

- 緑の丸を並べたかたにします
- アクリル板を設置する
- 左記以外の会食
- テーブルを併用する

STEP2 食事前の下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに鑑賞しましょう。

STEP3 食食中下げる！

- 食事中でも、会話をするとマスクを着用しましょう。
 - 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や席の移動は控えます。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 箸は控えます。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の量で参加者の気分が高揚し、マスク無しで会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 食食後下げる！

- 長時間かつ深夜のはしご酒は控えます。
- 帰宅前後の手洗いなどにより、車内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、速にかかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

5 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

- 県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。

【認証制度】

- 感染防止対策徹底のため「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト



認証制度



※…認証店における会食を除く。

6 イベント開催

- 県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- 参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率上限】の**いずれか小さい方**に制限してください。
- 感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他 (感染防止安全計画を策定しない)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率上限	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

イベントの開催制限について



【大声】：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。【大声あり】：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当【大声あり】「大声なし」のエリアが明確に区分される場合：同一イベント等において、「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の収容率の上限は、それぞれ、50%（大声あり）・100%（大声なし）とします。

詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

7 医療機関の適正受診など

【適正受診】

コロナに関わらず、**緊急を要さない**と思われる場合は、平日の昼間の診療時間内に受診をするなどの御協力をお願いします。

【薬品・食料品の準備】

重症化リスクの低い方や軽症の方は、緊急受診しなくても良いよう準備を。

【夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合】

下記への電話相談をお願いします。

子ども医療電話相談事業	# 8 0 0 0	平日 : 午後7時から翌朝8時まで 土曜日 : 午後3時から翌朝8時まで 日・祝日 : 午前8時から翌朝8時まで
夜間安心医療電話相談事業	# 7 4 0 0	毎日 : 午後7時から翌朝8時まで

8 その他

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減(可能な範囲で目標を設定)への取組み
- ・職場における感染防止のための取組み(手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等)の徹底
- ・三つの密を発生させない取組みへの協力
- ・従業員に対し、療養・待機期間解除後の念のための検査を促すことは控えて

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取組み(職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等)の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・保育所で希望する場合は保育士等に対する集中的検査の実施
- ・市町村の代替保育の実施を支援

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・感染防止対策の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼
- ・小学校で希望する場合は教職員に対する集中的検査の実施

高齢者等施設

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

その他

- ・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に、早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがいつでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対のないよう、お願いします。

また、県では、基本的な感染防止対策として、マスクの着用をお願いしているところですが、障がいや病気などの様々な事情でマスク着用が困難な方がいらっしゃいます。県民の皆様におかれては、このような様々な事情により、マスクをつけられない方がいらっしゃることをご理解いただきますようお願いいたします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、新規感染者数は継続して減少傾向にあり、病床使用率も低下し、30%前後を横ばいで推移しております。

この減少傾向を継続しつつ、高齢者など重症化リスクが高い方を守るためにも、引き続き感染防止対策の徹底や、医療機関の適正な受診など、一人一人のご協力が必要です。

【対策】

- ✓ ワクチン接種の着実な実施
- ✓ 保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
- ✓ 保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
- ✓ 熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
- ✓ さらなる病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

- ✓ **基本的な感染防止対策を徹底**してください。(手洗い・うがい・手指消毒・換気・マスク着用(※))
※…マスク着用が推奨される場面の詳細については、資料7ページをご参照ください。
- ✓ 高齢者や基礎疾患のある方及びその同居家族の感染防止対策を徹底してください。
- ✓ 症状は無いが、感染に不安を感じる方(熊本県民に限る)については、熊本県が実施している**無料PCR等検査を受検**していただくようお願いいたします。
- ✓ 会食時は県が示している「**会食時の感染リスクを下げる4つのステップ**」を遵守して、**なるべく普段から一緒にいる人と人数を絞って行う**とともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。
- ✓ 「**熊本県飲食店感染防止対策認証制度**」を活用してください。
- ✓ 夜間に発熱等の症状が出た際、緊急を要さない場合は、出来る限り平日の昼間の診療時間内で受診いただくなど、**医療機関の適正な受診**にご協力をお願いいたします。
- ✓ ご自身やご家族が感染した場合に備え、**常備薬、日用品や食料品などを事前に備えていただく**ようお願いいたします。
- ✓ 救急医療を守るため、**軽症の場合や検査目的での救急病院の受診はお控え**ください。
- ✓ 職場において、業種別ガイドライン等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。
また、**テレワークや時差出勤等**に協力してください。
- ✓ 希望される方は**積極的なワクチン接種**をお願いいたします。

本ページの内容の問い合わせ先

熊本市 新型コロナウイルス感染症対策課
問合せ先：岡島・田上・田口・富永
電話：096-364-3311